



つりの設営準備や運営実施に支障をきたす可能性があるため、市役所や防災センター内での会議やイベント等の実施を極力避けていただき、実施する場合は、事前に地域活性課まで連絡してください。また、各課のイベントや事業等において市民まつり内での取組を希望するものや会場出入口等でのチラシ配布等のPR事業を希望する場合等については、新規事業を実施するのは難しい状況ですが、7月8日までに地域活性課へ連絡をお願いします。各部においては、施設の借用等で協力いただくことがあるかと思いますが、よろしくをお願いします。

市 長 他にありますか。

部 長 白井塚古墳発掘調査についてです。令和4年度及び5年度に予定している(仮称)白井塚古墳公園の整備工事に先立ち、工事の影響を受けると想定される範囲で令和4年5月10日から事前の発掘調査を行っています。調査の結果、古墳の主体部3基が残されていることが明らかになり、見つかった主体部は、礫槨(れきかく)と呼ばれる構造のもので、遺体を納めた木棺を河原石を敷き詰めた礫床の上に安置し、その周りを河原石で取り囲んだものです。その中の1基からは鉄製の直刀等が出土しています。今回発見された礫槨は、狛江古墳群の特徴を最もよく示すものであるだけでなく、多摩川流域のみならず南関東で見ても、保存状態の良さも含めて極めて希少な事例であり、可能な限り現地で保存できるよう工事の工程や工法等を関係部署と調整しています。なお、調査は7月中旬までを予定していますが、6月18日に市民向けの現地見学会を開催する予定です。また、貴重な遺産の出土ですので、市議会議員向けにもお知らせし、予算については、今後検討していきます。

市 長 他にありますか。

部 長 総合水防訓練についてです。令和4年度は令和元年東日本台風と同程度の台風の接近に伴う対応を想定し、避難所11箇所での開設・受入訓練、排水樋管対応訓練及び災害対策本部訓練を同時に実施しました。訓練参加者数は市職員、避難所運営協議会、学校関係者及びその他関係者を合わせて合計1,088人となり、一般参加のなかった令和3年度参加者数316人と比較し、多くの方に参加いただくことができました。各部協力ありがとうございました。

災害対策本部訓練では、将来のブラインド訓練の実施に向けた錬成の第一段階として危機管理監が事前に作成した会議資料に基づき、目的を明確にした災害対策本部会議の進め方を確認しました。避難所開設・運営訓練では、総合水防訓練で初めてとなる11箇所の避難所を開設し、市民の避難訓練を実施しました。午前10時の防災行政無線等を合図に、各避難所での受入れ

訓練を行い、合計 470 人の一般市民の方に参加いただきました。福祉避難所訓練は協定を締結している愛光女子学園において実施し、避難の際に配慮が必要な方への対応を確認しました。排水樋管対応訓練については、消防団による排水ポンプ車の運用や下水道課職員による樋管操作の実働訓練も併せて実施し、より実践的な訓練になったものと思います。

訓練全体を通してコマラジに 2 時間の水害対策特番が編成され、午前 10 時から各避難所において放送を実施し、狛江第六小学校からのライブ放送により市長のコメントを発信し、水害対策の啓発や重要性を訴えることができました。今回参加した職員にはすでにアンケートを実施していますが、災害対策本部訓練参加者についても 6 月 20 日までに危機管理監に意見等を連絡してください。今後、避難所運営協議会からも意見をいただき、今回の訓練についてのアンケートや対応等がまとまりましたら改めてお知らせします。

市 長        災害対策本部員からの意見は危機管理監が直接聴取できるように設定してください。

他になければ、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、6 月 21 日午前 9 時 00 分から開催します。